

# 海軍公報

第三千四百三十六號

海軍大臣官房

大正十三年四月十五日(火)

(大出)

## ○令達

官房第一〇六七號

大正十四年十二月官房第三八二五號中「軍艦春日」ヲ削

本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正十三年四月十五日

海軍大臣 村上 格 一

參照 大正十四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍事費ヲ以テ經費ヲ  
支辨スヘキ各部ノ件ナリ

## ○辭令

○大正十三年四月十四日

任海軍書記

給月俸五拾貳圓

任海軍技手

唐津 良輔

片山 連次郎

海軍公報 第三四三六號

大正十三年四月十五日

三九七

給六級俸  
任海軍技手  
給月俸七拾圓

濱村 雅男

海軍燃料廠附ヲ命ス

海軍書記 唐津 良輔

(各通)

海軍技手 片山 連次郎

佐世保海軍工廠附ヲ命ス

同 濱村 雅男

(各通)

海軍造船機中佐 吉原 重時

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上海軍省海軍省)

從五位勳三等 鴻 山 藏

海軍大學校ニ於ケル戰史教授ヲ囑託ス

但報酬月額百圓ヲ給シ部内限り委任官待遇トス(海軍省)

海軍省)

海軍軍令部參謀 鳥巢 玉樹

海軍軍令部次長缺員中其ノ職務執行ヲ命シ置候處差  
免ス(海軍省+海軍軍令部長)

## ○雜款

○郵便物發送先變更(本月十四日)  
(本欄参照)

第一潜水戦隊司令部、軍艦筑摩、迅鯨、第六潜水隊  
(四六、五七、四七潜水艦)、第四潜水隊(二八、二九、  
三〇潜水艦)宛

四月十七日迄ニ到着見込ノモノハ山口縣藤生

四月二十日迄ニ同

吳

四月二十七日迄ニ同

三重縣神社港  
横須賀

○著任

海軍軍令部次長齋藤海軍中將四月十四日著任

○赴任

支那國在勤帝國公使館附武官輔佐官海軍少佐久保田久  
晴來ノ二十日神戸發ノ淡路丸ニ乗船赴任ノ豫定

豫備役海軍機關大尉從六位勳五等濱田毅盛大正十  
二年九月二十九日死去セリ

○正誤

四月十四日本欄特務艦佐多宛郵便物發送先變更中

〔本月十四日〕ハ〔本月十二日〕ノ誤  
(本欄参照)

0458

○艦船所在

▲印ノ艦船  
指定ヲ要セズ

○四月十五日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、春日、磐手

▽夕立、白露、夕暮、三月月、▽島風、

灘風、沙風、▽有明、響、如月、神風、

吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、

▽潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八

▽掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲埼、青島、武藏、朝日、關東、

富士、高崎

【石川島】

驅一二

【浦賀】

阿武隈

【大湊】

濱風

▽潜四〇、潜三九、潜三八

【小樽】

大泊

【根室】

▽時津風、磯風、天津風

【吳】

土佐、伊勢、霧島、木曾、鬼怒、

千歲、矢矧、駒橋、勝力、球磨、

▽平戸、韓崎、滿州、▽天龍、多摩、

▽追風、彌生、卯月、疾風、初春、

▽驅一六、驅一八、驅二〇、▽島、萩、

薄、▽谷風、江風、葵、菊、

▽驅六、驅四、驅二

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、▽潜二五、潜二七、

▽潜三七、潜三二、潜二四、▽潜三四、

潜三五、潜三六、▽潜六二、潜四五、

▽潜七二、潜二六、潜四四、潜五一、

潜一八、潜三〇

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、

大和

【神戶】

神通

潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、

潜八四

【藤生】

▽筑摩、迅鯨

▽潜四六、潜四七、潜五七、▽潜三八、

潜二九

【宮島】

▽長月

【三田尻】

▽長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴

【舞鶴】

日進

【佐世保】

▽山風、海風、檜、榎、驅九

出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、

龍田、夕張

0459

【長崎】長鯨、川内  
 【馬公】大井  
 【基隆】杉、桐  
 【鎮海】蓮、蓬、梅、楠  
 【旅順】桐、樺、櫻、橘  
 【南洋群島】明石  
 【上海】伏見  
 【鎮江】利根  
 【漢口】宇治  
 【長沙】鳥羽、岡田  
 【宜昌】堅田  
 【重慶】勢多  
 【寧波】安宅  
 【廣東】松

佐多 (三月二十六日「ホノルル」發—佐世保へ)  
 隱戸 (五日「タラガン」發—吳へ)  
 石廊 (六日桑港發—「ホノルル」へ)  
 尻矢 (七日桑港發—内地へ)  
 保津 (十日上海發—漢口へ)  
 北上、(日驅一、波風、野風、沼風、日驅三、驅五、  
 日沖風、澤風、峯風、夕風、日太刀風、帆風、秋風、  
 羽風 (十日漢口發—佐世保へ)  
 驅七 (十一日佐世保發—橫須賀へ)  
 比良 (十二日上海發—長沙へ)  
 神威 (十二日桑港發—徳山へ)  
 日椿、榎、桑、樺 (十三日野蒜發—橫須賀へ)  
 野島 (十三日高雄發—佐世保へ)  
 淀 (十四日二見發—「サイパン」へ)  
 若宮 (十三日旅順發—佐世保へ)  
 日金剛、比叡、日名取、由良、長良 (十四日旅順  
 發—佐世保へ)  
 八雲 (十四日橫須賀發—佐世保へ)  
 淺間 (十四日橫須賀發—吳へ)  
 劍埼 (十四日佐世保發—旅順へ)  
 松江 (十四日橫須賀發—鳥羽へ)  
 室戸 (十五日徳山發—吳へ)

【航海中】

(前内限一頁)

拜啓

客月十九日基本演習中佐世保港外ニ於ケル第四十三潜水艦ノ遭  
難ハ稀有ノ椿事ニシテ桑島海軍少佐以下四十五名其ノ職ニ殉シ  
タルハ眞ニ帝國海軍ノ一大恨事ナルト共ニ殉難諸士ノ悲壯ナル  
最後ヲ偲ヒテハ轉々同情ノ念禁スル能ハサル所ニ有之候就テハ  
海軍部内各位ノ御同情ニ訴ヘ義捐金ヲ募リ聊カ殉難諸士ノ遺族  
慰藉ニ充テ度候間幸ニ御賛同ヲ賜リ度此段得貴意候 敬具

大正十三年四月十五日

海軍部内各位御中

附記

海軍少佐	原田文一
海軍中佐	古川良一
海軍大佐	田岡勝太郎
海軍少將	古川四郎
同	高橋節雄

- 一、義捐金ハ准士官以上及高等文官ハ俸給月額貳百分ノ一ヲ標準トシ下士官兵及其ノ他ノ標準ハ任意トシ金額ノ多少ニ拘ラス成ルヘク多數御賛同ヲ得度
- 二、義捐金ハ各局、部、廳、艦船部隊毎ニ取纏メ來五月十五日迄ニ佐世保防備隊主計長宛御送金ヲ得度
- 三、遠隔ノ地ニテ期日迄ニ御送金困難ナル向ハ電報ニテ金額丈ケ豫メ御通知ヲ得度

0461

大出

# 海軍公報

第三千四百三十七號

海軍大臣官房

大正十三年四月十六日(水)

## ○辭令

第一部第三課勤務ヲ命ス(相明海軍艦政本部)  
海軍大尉 中島省三郎

## ○雜款

### ○郵便物發送先

第二潜水戰隊司令部、軍艦平戸、韓崎、第十四潜水隊  
(四五、六二潜水艦)、第二十六潜水隊(七二潜水艦)宛

四月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 二十八日迄ニ 同 山口縣藤生

其ノ後ハ 吳

第五十九潜水艦宛

四月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

其ノ後ハ 第二潜水戰隊ニ同シ

軍艦球磨宛

四月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
同 二十四日迄ニ 同 釜山  
同 二十七日迄ニ 同 吳  
五月一日迄ニ 同 長岡  
同 六日迄ニ 同 吳  
同 八日迄ニ 同 吳  
其ノ後ハ 吳

### 第二十二驅逐隊宛

四月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 群島

同 二十九日迄ニ 同 仁川

五月二日迄ニ 同 鎮南

同 五日迄ニ 同 新州

其ノ後ハ 鎮海

### ○軍艦球磨行動豫定

地名 着 發

吳 四月二十一日

江田内 四月二十一日

釜山 四月二十三日

海軍公報 第三千四百三十七號 大正十三年四月十六日

四〇二

0462

○第二十二驅逐隊行動豫定

竹敷	五月二十五日	着	五月二十六日
福岡	五月二十九日	着	五月二十九日
江田	五月二十九日	着	五月二十九日
吳田	五月二十九日	着	五月二十九日
江田	五月二十九日	着	五月二十九日
鹿島	五月二十九日	着	五月二十九日
長崎	五月二十九日	着	五月二十九日
福岡	五月二十九日	着	五月二十九日
江田	五月二十九日	着	五月二十九日
吳田	五月二十九日	着	五月二十九日

○第二十二驅逐隊行動豫定

鎮海	四月二十二日	着	四月二十二日
巨文島	四月二十三日	着	四月二十三日
濟州島	四月二十四日	着	四月二十四日
古群山	四月二十五日	着	四月二十五日
蔚山	四月二十六日	着	四月二十六日
仁川	四月二十七日	着	四月二十七日
鎮南	五月一日	着	五月一日
白翎島	五月三日	着	五月三日
新義州	五月四日	着	五月四日
鎮海	五月八日	着	五月八日

梅浦

鎮海	四月二十二日	着	四月二十二日
巨文島	四月二十三日	着	四月二十三日
木浦	四月二十四日	着	四月二十四日
海州	四月二十五日	着	四月二十五日
蔚山	四月二十六日	着	四月二十六日
仁川	四月二十七日	着	四月二十七日
鎮南	五月一日	着	五月一日
新義州	五月四日	着	五月四日
鎮海	五月八日	着	五月八日

○前任練習艦隊司令官海軍中將齋藤七五郎四月十四日退隊、新司令官着任迄幕僚事務ハ軍艦磐手ニ於テ行フ (練習艦隊)

0463

○艦船所在

▲印ハハホケ  
指定ヲ要セス

○四月十六日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、磐手

区夕立、白露、夕暮、三日月、区樺、槇

桑、樺、区島風、灘風、汐風、区有明、響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨、驅七

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八

区掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武蔵、朝日、關東、富士、高崎

【石川島】

阿武隈

驅八

【鳥羽】

松江

【大湊】

潜四〇、潜三九、潜三八

【吳】

士佐、伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳、矢矧、駒橋、勝力、球磨、滿州、区天龍、多摩、区追風、彌生、卯月、疾風、初春

区驅一六、驅一八、驅一〇、区葛、萩、藤、薄、区谷風、江風、葵、菊

区驅六、驅四、驅二

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、区潜二五、潜二七、潜三七、潜三二、潜二四、区潜三四、潜三五、潜三六、潜二六、潜四四、潜五一、潜一八、区潜四六、潜四七、潜五七

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、大和、室戸

【神戸】

神通

潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、潜八四

間宮

【藤生】

区筑摩、迅鯨

【由宇】

区平戸、韓崎

【宮島】

区菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月

【三田尻】

区長門、陸奥、日向、山城、区五十鈴、舞鶴、日進、区山風、海風、橋、榎、驅九、佐多



【船川】濱風  
【佐世保】出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、

龍田、夕張、

▽檜、桃、柳、楡、▽樺、樺、竹、栗、

▽栗、楡、梅、柿、▽葎、菱、蕨、蕨、

▽初雪、若葉、潮、朝風、子日、春風、

潜二一、▽潜四一、潜四二、潜四三、

潜五九、潜六八

敷島、知床、襟裳、鶴見

【長崎】長鯨、川内

【馬公】大井

▽柏、杉、榊

【基隆】蓬、蓼

【鎮海】梅、楠

▽潜三二、潜三三、潜三一

【浦項】▽楓、桂

【旅順】▽桐、樺、櫻、橘

【南洋群島】明石

【上海】伏見

【鎮江】利根

【漢口】宇治

【長沙】鳥羽、隅田

【宜昌】堅田

【重慶】勢多

【寧波】▽安宅

【廣東】松

【航海中】

隱戸 (五日「タラカン」發一吳へ)

石廊 (六日桑港發「ホノルル」へ)

尻矢 (七日桑港發一内地へ)

保津 (十日上海發一漢口へ)

▽北上、▽驅一、波風、野風、沼風、▽驅三、驅五、

▽沖風、澤風、峯風、夕風、▽太刀風、帆風、秋風、

羽風 (十日漢口發一佐世保へ)

比良 (十二日上海發一長沙へ)

神威 (十二日桑港發一徳山へ)

野島 (十三日高雄發一佐世保へ)

淀 (十四日二見發「サイパン」へ)

若宮 (十三日旅順發一佐世保へ)

口金剛、比叡、▽名取、由良、長良 (十四日旅順

發一佐世保へ)

八雲 (十四日横須賀發一佐世保へ)

淺間 (十四日横須賀發一吳へ)

劍崎 (十四日佐世保發一旅順へ)

▽蓮 (十五日基隆發一馬公へ)

大泊 (十五日小樽發一亞港へ)

春日 (十六日横須賀發一舞鶴へ)

(附録四頁、部内限ナシ)

# 海軍公報附錄

海軍大臣官房

大正十三年四月十六日(水)

## 關東震災地方一般罹災者救助義捐金決算報告

### 收入ノ部

一 金壹萬參千八百貳圓五拾六錢 義捐金收入高

別紙受人明細表ノ通

### 支出ノ部

一 金壹萬參千八百圓拾六錢

臨時震災救護事務局送付金

一 金貳圓四拾錢

印刷費

以上

大正十三年三月三十一日

關東震災地方一般罹災者救助義捐金募集發起人

備考 預金利子ハ部内者救護義捐金中へ繰入ル

海軍公報 附錄

(別紙)

### 受入明細表

受入金額	各應艦團部隊	受入金額	各應艦團部隊
四二二〇	海軍軍令部	三九二〇	海軍省醫務局
二九〇〇	同 戰史編纂部	六六〇	同 法務局
八七二〇	海軍大臣官房	二七〇〇	同 建築局
七三〇〇	海軍省軍務局	六〇〇	武功調査
一〇〇〇〇	同 人事局	三九〇〇	東京監督官
五四〇〇	同 教育局	三〇三〇	海軍技術研究所
五〇〇〇	同 軍需局	二二八〇	海軍大學校
三四〇〇	同 機關局	三三三〇	海軍艦政本部

0466

二四三〇	海軍艦政本部第一課第三課	一〇九〇〇	潜水學校	三六〇〇	同	軍需部	八五〇	父島無線電信所
三三六〇	海軍經理學校	二〇二五〇	吳鎮守府軍法會議	四九八〇	同	防備隊	七三〇	大湊要港部
三二八〇	臨時適性検査研究部	一五四〇〇	同	三三〇〇	海軍技手養成所	同	同	同
二六五〇	侍從武官	三三三〇〇	同	三六〇〇	佐世保無線電信所	同	同	同
一八三〇	東宮武官	三九八〇〇	同	八二〇〇	同	海軍病院	一〇七四〇	旅順防備隊
九二八〇	横須賀航空隊	四四〇〇	同	四四〇〇	同	鎮守府	一三三七〇	馬公防備隊
九九〇	同	九三三〇〇	同	三三三〇〇	同	經理部	九〇五〇	鎮海防備隊
一四〇〇	同	八六九〇〇	同	二九三〇〇	同	人事部	三九〇	臨時防備隊
一六三〇	同	七五〇〇	同	四三三〇	同	建築部	二八七七〇	霞ヶ浦航空隊
二二三〇	同	二六六〇〇	同	一八〇〇	同	同	一〇〇〇〇	同
八四九〇	同	三〇三〇〇	同	二二七〇	同	防備隊	二〇〇〇	廣海軍工廠
四〇三〇	兵學	三三〇〇	無線電信所	三三三〇	同	港務部	一五〇〇	佐世保海軍工廠
六九〇	機關學校	七〇〇〇	同	九〇〇	同	海兵團	三三三〇	大村航空隊
五五五〇	水雷學校	三九四〇〇	同	八三〇〇	東京無線電信所	同	同	同
二〇三〇	砲術學校	三二四〇〇	同	三六〇〇	鳳山無線電信所	同	同	同

0467

五九三〇	同	春 日	五九三〇	同	多 摩	三三四〇	同	保 津	三三四〇	同	勝 力
五三〇〇	同	練習艦隊司令部	五〇八〇	同	長 良	一〇三三〇	同	球 磨	三〇〇〇	同	野 島
一〇三七〇	同	同	九七五〇	同	日 進	一四六六〇	同	矢 矧	四四〇〇	同	能登呂
二四三九〇	同	磐 手	四六四〇	同	夕 張	一五六〇	同	迅 鯨	五九〇〇	同	隠 戸
七二七〇	同	八 雲	五三六〇	同	千 歳	一七二〇	同	由 良	二五〇〇	同	同
六六五〇	同	吾 妻	一三三〇	同	雷龍田第一水雷戦隊司令部共	六六八〇	同	常 磐	三四六五〇	同	關 東
九五五〇	同	名 取	五七〇〇	同	明 石	三四三〇	同	伏 見	五三三〇	同	同
一六〇三〇	同	山 城	四一九〇	同	千 早	八五〇〇	同	若 宮	五四三〇	同	佐 多
二〇三三〇	同	出 雲	二九五〇	同	敷 島	二五九〇	同	淀	二七六〇	同	滿 州
一七九七〇	軍 艦 扶 桑		一六〇三〇	同	比 叡	九六六〇	同	伊 勢	五三三〇	同	特務艦石廊
三〇二〇〇	第一掃海隊		六〇八〇	同	平 戸	六八八〇	同	大 井	八六〇	同	堅 田
三〇〇〇	漢口監督官		一四三三〇	同	韓 崎	六三三〇	同	安 宅	一四〇〇	同	鬼 怒
四九八〇	長崎監督官		一〇三三〇	同	天 龍	一六七〇	同	日 向	一三六〇	同	隅 田
一四七〇〇	八幡監督官		九九八〇	同	筑 摩	八三四〇	同	北 上	三九三〇	同	陸 奥
七九八〇	神戸監督官		二六〇〇	同	五十鈴	二四八〇	同	木 曾	二六〇〇	同	比 良

0468

七六〇	五三〇	五〇一八〇	九三〇〇	五六〇〇	一二五〇〇	一三九六〇	七〇九〇	四六六〇	五四二〇	三〇九四〇	五二七〇	一四二二〇	五〇四四〇	六四三〇
第十一驅逐隊	同	同	第二十八驅逐隊	第七驅逐隊	第二驅逐隊	第二十二驅逐隊	第十六驅逐隊	第八驅逐隊	第六驅逐隊	同 膠州	同 朝日	同 知床	同 富士	同 大泊
三九四〇	七五〇	八八七〇	一〇〇〇〇	一〇三三〇	二五五七〇	五〇〇〇	一六五七〇	四三三〇	三六四〇	四八八〇	四三三〇	一六八三〇	一〇一九〇〇	三六三〇〇
第十一潜水隊	第二潜水隊	同 矢風	同 浦風	驅逐艦夕風	第二十六驅逐隊	第二十四驅逐隊	第九驅逐隊	第十三驅逐隊	第十二驅逐隊	第二十八驅逐隊	第十四驅逐隊	第五驅逐隊	第三十驅逐隊	第二十五驅逐隊
				三〇三三〇	合計	四二二〇〇	四四四九〇	三五〇〇	二二八〇	一八三〇	一六七〇	一七三七〇	五五〇〇	四三三〇
						外 博恭王殿下其ノ	第十五潜水艦	第六十九潜水艦 機裝員	第六十二潜水艦	第四十四潜水艦	第四潜水隊下士 官兵	同 下士官兵	第六潜水隊	第四潜水隊

0469

# 海軍公報

第三千四百三十八號

海軍大臣官房

大正十三年四月十七日(木)

八出

0470

## ○令 達

官房第一一〇七號

中川秋骨及田邊伴助ヨリ寄附ニ係ル學藝技術獎勵金ノ  
使途ニ關シ爾令左記ノ通定ム

大正十三年四月十七日

海軍大臣 村上 格 一

自記

左ノ練習生各期優等卒業者若干名ニ獎勵賞品ヲ授與ス

- 一、海軍水雷學校普通科水雷術練習生
- 一、海軍機關學校普通科機關術練習生
- 一、海軍機關學校普通科電機術練習生
- 一、海軍機關學校工術練習生
- 一、海軍機關學校船匠術練習生
- 一、海軍經理學校普通科經理術練習生

## ○通 牒

經給第二七號

湊海軍病院ニ旅行スル者ノ順路ハ三島大仁間地方鐵道  
ニ依リ其レヨリ陸路竹麻ニ至ルト、水路ニ依リ東方  
ヨリノ者ハ下田、西方ヨリノ者ハ子浦ニ至リ其レヨリ  
陸路竹麻ニ至ル何レノ經路ニ依ルモ差支無キコトトシ  
前金拂ノ旅費ニ付テハ前段ニ依ルコトトス  
前項ノ規定ハ湊海軍病院ヨリ旅行スル者ニ付之ヲ準用  
ス

右通牒ス

追テ陸路里程左ノ如シ

- 大仁—竹麻間 一八、一〇里
- 下田—竹麻間 二、一七、一〇里(遞信省調)
- 子浦—竹麻間 四、四〇里

大正十三年四月十七日

海軍省經理局長 深水 貞吉

海軍公報 第三千四百三十八號

大正十三年四月十七日

四〇五

○ 辭 令

兼第一課勤務ヲ免ス 海軍中佐 原 五郎  
兼第一課勤務ヲ命ス(以上大尉) 海軍省教育局 大西 瀧治郎

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第二艦隊司令部、金剛、比叡、第五戰隊司令部、名取、由良、長良、若宮宛

四月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保  
同二十五日迄ニ 同 大阪(川口築港)  
同三十日迄ニ 同 二 見  
其ノ後、

第二艦隊司令部、金剛宛 横 須 賀  
比叡、第五戰隊司令部、名取、由良、長良、若宮宛 佐 世 保

○ 休職満期

休職海軍技手塚越小之吉ハ本年三月二十日休職満期者トナリ

○艦船所在

▲印ハ公ハホ  
指定ヲ要セス

○四月十七日午前十時調

【雷賀】

加賀、榛名▲、千早、風翔、扶桑、阿蘇、▽磐手

兵夕立、白露、夕暮、三日月、▽椿、模、桑、櫻、▽島風、離風、汐風、▽有明、響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨、驅七

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜波三三、潜二〇、潜一九、潜五八

▽掃一、掃二、掃三

▽掃一、掃二、掃三

▽掃一、掃二、掃三

▽掃一、掃二、掃三

【石川島】

▽掃一、掃二、掃三

【浦賀】

▽掃一、掃二、掃三

【鳥羽】

▽掃一、掃二、掃三

【大湊】

▽掃一、掃二、掃三

【單冠海】

▽掃一、掃二、掃三

【吳】

▽掃一、掃二、掃三

▽五十鈴

▽五十鈴、多摩、▽天龍

▽追風

▽追風、彌生、卯月、疾風、初春

0472

海軍省編 第三四三八號 大正十三年四月十七日

四〇七



【船川】 濱風  
 【佐世保】 出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、龍田、夕張、(口)金剛、比叡、(ト)名取、由良、長良、(ト)北上、若宮

□檜、桃、柳、楡、樅、樺、榎、竹、梨、栗、梅、柿、(口)掌、(口)菱、(口)蕨、(口)重、(口)初雪、若葉、潮、朝風、子日、春風、(口)驅一、波風、野風、沼風、(口)驅三、(口)驅五、(口)沖風、澤風、峯風、夕風、(口)太刀風、帆風、秋風、羽風

□潛二一、(口)潛四一、(口)潛四二、(口)潛四三、(口)潛五九、(口)潛六八、(口)敷島、(口)知床、(口)襟裳

【長崎】 長鯨、川内  
 【馬公】 大井

□柏、杉、榿、(口)蓮

【基隆】 蓬、蓼  
 【鎮海】 (口)楓、桂、梅、楠  
 □潛三一、(口)潛三二、(口)潛三三、(口)潛三一

【旅順】 (口)桐、樺、櫻、橘  
 【(南)海】 明石  
 【(南)京】 利根  
 【(南)口】 宇治  
 【長沙】 鳥羽、隅田

【宜昌】 堅田  
 【重慶】 勢多  
 【廣東】 松

【航海中】  
 隱戸 (五日「タラカン」發一吳へ)  
 石廊 (六日桑港發「ホルル」へ)  
 尻矢 (七日桑港發一内地へ)  
 保津 (十日上海發一漢口へ)  
 比良 (十二日上海發一長沙へ)  
 神威 (十二日桑港發一徳山へ)  
 野島 (十三日高雄發一佐世保へ)  
 淀 (十四日二見發「サイバン」へ)  
 八雲 (十四日横須賀發一佐世保へ)  
 淺間 (十四日横須賀發一吳へ)  
 劍崎 (十四日佐世保發一旅順へ)  
 大泊 (十五日小樽發一亞港へ)  
 春日 (十六日横須賀發一舞鶴へ)  
 (口)時津風 (十六日單冠灣發一柏原へ)  
 鶴見 (十六日佐世保發「タラカン」へ)  
 (口)安宅 (十七日長湊灣發一上海へ)

(部内限ナシ)

0473

# 海軍公報

第三千四百二十九號

海軍大臣官房

大正十三年四月十九日(金)

大出

## ○令達

官房第一二二五號

大正十三年度ニ於ケル麵麩夫ノ平均貸錢額ヲ一圓九十錢ト定ム

大正十三年四月十八日

海軍大臣 村上格 一

## ○通牒

軍需第一八四號

大正十三年四月十八日

海軍省軍需局長 中里重次

關係各廳長殿

艦營需品定額表定數ノ件

今般達第四十二號ヲ以テ艦營需品定額表中改正相成候處各艦船部隊定額表定數ハ左記ノ通ト御承知相成度

海軍公報 第三四三九號

大正十三年四月十八日

四〇九

右通牒ス

記

區	別	品名	定數
航海長主管	他主管ヨリ供給ヲ受ケル消耗品中機機長主管	輕油	從來他主管ヨリ供給ヲ受ケル消耗品中運用長主管船匠之部ト同數
水雷長主管	同	同	從來ノ消耗品四號石油本主管定數ト同數
運用長主管	同	同	右ニ依リ航海長主管、水雷長主管ニ定數配入ノコト
機關長主管	他主管ヘ供給スル消耗品中	同	從來他主管ヨリ供給ヲ受ケル消耗品中運用長主管船匠之部ト同數
同	同	同	航海長主管ニ追加シ他主管ヨリ航海長主管、水雷長主管、運用長主管船匠之部ニ對スル分ヲ追加スルコト

## ○辭令

海軍省機關大佐 岸本 信太  
海軍省機關局ニ於テ服務スヘシ(十八日海軍大臣)

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス  
航空用語調査委員ヲ命ス(四月十七日海軍省)  
海軍機關少佐 庄司 健吉

(各通)

中村 博  
山本 榮  
淺井 三明  
栗田 武  
服部 留七郎  
平山 徹

海軍造兵生徒ヲ命ス(四月一日海軍艦政本部)

海軍機關少佐 庄司 健吉

第二部勤務ヲ命ス(四月十五日海軍艦政本部)

○ 雜 款

○特務艦鶴見行動豫定

地名 着 發

佐世保 四月二十六日 四月十六日

タラカン 五月三日 二十九日

マニラ 五月六日 十七日

德山 四月十四日

○高等科學生考試

第二十四期高等科學生入學考試問題ハ本月十六日發送  
濟 海軍砲術學校

0475

○艦船所在

印ハハホ  
指定ヲ要セス

○四月十八日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、鳳翔、扶桑、

阿蘇、磐手

▽夕立、白露、夕暮、三日月、▽椿、楨、

桑、樺、▽島風、灘風、汐風、▽有明、

響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、

浦風、夕風、時雨、驅七

▽潜波一、潜波二、潜波三、潜波四、潜波一〇、

▽潜波二〇、潜波一九、潜波五八

▽掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲埼、青島、武藏、朝日、關東、

富士

【石川島】

驅一二

【浦賀】

阿武隈

驅八

【大湊】

▽潜四〇、潜三九、潜三八

【單冠灣】

磯風、天津風

【吳】

伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歲、

矢矧、駒橋、勝力、球磨、▽長門、

陸奥、日向、山城、▽五十鈴、多摩、

▽天龍、▽筑摩、迅鯨、淺間

▽追風、彌生、卯月、疾風、初春、

▽菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月、

▽驅一六、驅一八、驅一〇、▽萬、萩、

藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、

▽驅六、驅四、驅二

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、▽潜二五、潜二七、

▽潜三七、潜三二、潜二四、▽潜三四、

潜三五、潜三六、潜二六、潜四四、

潜五一、潜一八、▽潜四六、潜四七、

潜五七、▽潜二八、潜二九、潜三〇

早瀬、野間、能登呂、攝津、膠州、

大和、室戸、隠戸、高崎

【神戸】

神通、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、

潜八四

問宮

【由宇】

▽平戸、韓崎

▽潜六二、潜四五、▽潜七二

【徳山】

滿州

【舞鶴】

日進

▽山風、海風、檜、榎、驅九

佐多

【佐世保】

出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、

龍田、夕張、▽金剛、比叡、▽名取、

由良、長良、▽北上、若宮、(八雲)

0476

〔長崎〕長崎、川内  
 〔馬公〕大井  
 〔基隆〕蓬、蓼  
 〔鎮海〕檉、桂、梅、楠  
 〔旅順〕桐、樺、櫻、橘  
 〔南洋群島〕明石  
 〔亞港〕大泊  
 〔上海〕安宅、伏見  
 〔南京〕利根  
 〔漢口〕宇治  
 〔長沙〕鳥羽、隅田  
 〔宜昌〕堅田  
 〔重慶〕勢多

〔廣東〕松  
 〔サウル〕石廊  
 〔航海中〕  
 尻矢 (七日桑港發—内地へ)  
 保津 (十日上海發—漢口へ)  
 比良 (十二日上海發—長沙へ)  
 神威 (十二日桑港發—徳山へ)  
 淀 (十四日二見發—サイバンへ)  
 春日 (十六日横須賀發—舞鶴へ)  
 時津風 (十六日單冠灣發—柏原へ)  
 鶴見 (十六日佐世保發—タラカンへ)  
 松江 (十七日鳥羽發—二見へ)  
 濱風 (十八日船川發—函館へ)

(海内限一頁)

0477

# 海軍公報

第三千四百四十號

海軍大臣官房

大正十三年四月十九日(土)

## ○令達

官房第一一三六號

外國軍艦及外國船舶ノ諾威軍港又ハ要港ニ入港ノ際諾威政府又ハ同國官憲ノ允許ヲ得タル諾威水先案内人ヲ要スル旨ノ勅令公布アリタル趣並前記水先案内人所在地ニ關シ在本邦諾威公使館ヨリ左記ノ通申越アリタル旨外務省ヨリ移牒ニ接セリ此旨心得ヘシ  
右通達ス

大正十三年四月十九日

海軍大臣 村上 格 一

記

王國勅令ヲ以テ新法令發布迄ハ外國軍艦及外國商船ニシテ諾威軍港又ハ要港ニ入港セムトスルモノハ王國政府又ハ諾威主務官憲ノ認許セル水先案内者ヲ使用スルニ非サレハ入港ヲ許可セラレサル旨決定セラレタリ前項ニ關シ王國公使館ハ右ノ認許セラレタル水先案内者ノ駐在スル主要地點ヲ列舉スルノ光榮ヲ有ス

海軍公報 第三四四〇號

大正十三年四月十九日

四一三

Kristianiaford 入港スル場合 Paerder, Torbjørnskjær, Srenor

Kristiansand 同 Oksoe

Bergen 同 Strudenesfjorden 又 K. Marstenen (Korsfjorden)

Trondhjemsfjord 同 Rindoe 又 K. Giskow, Aalesund 又 Kristiansund

Vardoe 同 軍港境界ニ於テ

## ○通牒

官房第八二一號ノ四

大正十三年四月十九日

海軍次官 岡田 啓介

吳鎮守府司令長官殿  
第一、第二艦隊

外國船福音丸不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方通信大臣ノ照會ニ應シタル末今般該免狀交

0478

付セラレタリ

(別紙)

第一號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 福音丸
- 一、國籍 亞米利加合衆國
- 一、種類 帆船(發動機付)
- 一、船主氏名及國籍 亞米利加浸禮外國傳道會社
- 一、船長氏名及國籍 田窪住市
- 一、總噸數 百五十噸八九
- 一、橋ノ數 貳本
- 一、網具ノ裝置 ブリガンティン
- 一、寄港ノ目的 布教
- 一、寄港地名
  - 香川縣 土庄、淵崎、池田、見目、草壁下村、安田、阪手、福田、大部、吉野、高松、家ノ浦、泊浦、大浦、江浦、茂浦、青木、手島、直島、粟島
  - 岡山縣 大浦、金風呂、真鍋、佐柳、牛窓
  - 廣島縣 田島、百島、尾道、重井、田熊、土庄、三庄、中庄、佐木島、高根島、瀬戸田、東生口、西生口、古江、木ノ江、御手洗

愛媛縣 下月削、生名島、岩城島、大島、四阪島、木ノ浦、北浦、伊方、甘崎、瀬戸崎、盛口、宮浦、野々江、宗方、大浦、小濱、宇和間

山口縣 安下庄、船越、外入、沖浦、家室、小泊、平野、下田、浮島、三田尻、柳井

兵庫縣 相生、家島、西島、男鹿島、坊勢島、松島

但シ軍港要港規則及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル區域ヲ除ク

右不開港場へ寄港ヲ許可ス  
 本免狀有效期間ハ大正十三年四月二十三日ヨリ同十四年四月二十二日迄トス但必要アルトキハ同期間内ト雖其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ  
 大正十三年四月十六日

遞信大臣

(裏面)

福音丸航行心得  
 一、本船ハ帝國法令又ハ條約ヲ遵守スルハ勿論警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ  
 一、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ各寄港地間ニ於テ旅客又ハ貨物ノ運搬ヲ爲スヘカラス

0479

- 一、本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ
- 一、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ檢閲ヲ受クヘシ
- 一、本免狀ノ期間満了シタルトキ又ハ許可ヲ取消サレタルトキハ直ニ免狀ヲ返納スヘシ
- 一、前記各項ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背シタルトキハ直ニ許可ヲ取消スヘシ

經艦第五六號

大正十三年四月十九日

海軍省經理局長 深水貞吉

艦隊經費出納官吏殿

艦隊經費ニ關スル件

近來經費ニ關スル電報ニシテ電文誤達ノ爲メ再三照復ヲ重ヌルコト多ク時日ト費用ヲ要シ整理上支障不尠ニ付其正確ヲ期シ取扱ノ便宜ヲ圖ルタメ爾今左記ニ依リ電文ヲ作製シ發電ト同時ニ書類(電報濟ノモノナル旨ヲ附記シ)發送相成様致度  
右通牒ス

記

一、電文ノ末尾ニ電報番號及發電月日ヲ附記スルコト

- 二、金額ハ左例ニヨリ數字及略符ヲ以テ重複記載スルコト  
一 二 三 四 五 六 七 〇 エ ン 八 九 (ヒフミヨイムナレヤコ)
- 三、二以上ノ金額ヲ記載スル場合ハ適宜合計金額掲記ノコト

大正十三年四月十九日

水路部長 内田虎三郎

各艦船部隊長殿

航海報告ノ件

各艦船ヨリ送付ノ航海報告ハ水路圖誌編纂上重要ナル資料ニシテ航路、港灣、海洋氣象等ノ調査研究ハ主トシテ之ニ依ル次第ニ候處、海軍艦船ヨリノ報告少ナキハ甚タ遺憾トスル處ニ有之候就テハ航海ノ長短區域ノ如何、記事ノ多少ニ係ラス努メテ御提出ヲ得度  
右申進ス

○ 雜 款

○ 佛艦行動

0480



佛國艦隊旗艦「ヂュロン、ヌソール」(司令官「ナ  
ロツシヨ」少將坐乗)ハ佛領印度支那總督「メルラン」  
氏ヲ乗セ僚艦「アルテール」ト共ニ來五月七日頃神戸  
着ノ豫定

○正観

本月十七日本欄休職海軍技手塚越小之吉休職満期本年  
三月二十日ハ本年三月三十日ノ限

0481

○艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セス

○四月十九日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名▲、千早、鳳翔、扶桑、阿蘇、▽替手

▽夕立、白露、夕暮、三日月、▽椿、楨、桑、樺、▽島風、灘風、汐風、▽有明、響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨、驅七

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八

▽掃一、掃二、掃三、鳴戸、洲崎、青島、武藏、朝日、關東、富士

【石川島】

驅一二、驅八

【大湊】

▽潜四〇、潜三九、潜三八

【單冠灣】

磯風、天津風

【柏原】

▽時津風、伊勢、霧島▲、木曾、鬼怒、千歲、矢矧、駒橋、勝力、▽長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴、多摩、▽天龍、▽筑摩、迅鯨、淺間

▽追風、彌生、卯月、疾風、初春、▽菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月、▽驅一六、驅一八、驅一〇、▽蕙、萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、▽驅六、驅四、驅二

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、▽潜二五、潜二七、潜三七、潜二二、潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜二六、潜四四、潜五一、潜一八、▽潜四六、潜四七、潜五七、▽潜二八、潜二九

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、大和、室戸、隱戸、高崎

【神戸】

神通、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、潜八四

【由宇】

▽平戸、韓崎、間宮、潜六二、潜四五、▽潜七二

【安下庄】

球磨、日進

【舞鶴】

▽山風、海風、檜、榎、驅九、出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、龍田、夕張▲、▽金剛、比叡、▽名取、由良、長良、▽北上、若宮、八雲

0482

〓櫻、桃、柳、檜、〓椗、〓椗、竹、梨、  
 〓栗、榆、梅、柿、〓葦、菱、蕨、薑、  
 〓初雪、若葉、潮、朝風、子日、春風、  
 〓騾一、波風、野風、沼風、〓騾三、  
 〓騾五、〓沖風、澤風、峯風、夕風、  
 〓太刀風、帆風、秋風、羽風、  
 〓二一、〓潜四一、〓潜四二、〓潜四三、  
 〓潜五九、〓潜六八、  
 敷島、知床、襟裳、野島  
 【長崎】長崎、川内  
 【馬公】大井  
 〓柏、杉、榊、〓蓮  
 【基隆】蓬、蓼  
 【鎮海】〓楓、桂、梅、楠  
 〓潜三一、〓潜三二、〓潜三三、  
 〓潜三一  
 【旅順】〓桐、樺、櫻、桐  
 劍崎  
 【南洋群島】淀  
 【亞港】大泊  
 【上海】〓安宅、伏見  
 【蕪湖】利根  
 【漢口】宇治、保津  
 【長沙】鳥羽、隅田  
 【宜昌】堅田  
 【重慶】勢多

【廣東】松  
 【カナルル】石廊

【航海中】

尻矢 (七日桑港發―内地へ)  
 比良 (十二日上海發―長沙へ)  
 神威 (十二日桑港發―徳山へ)  
 春日 (十六日横須賀發―舞鶴へ)  
 鶴見 (十六日佐世保發―「タラカン」へ)  
 松江 (十七日鳥羽發―二見へ)  
 濱風 (十八日船川發―函館へ)  
 滿州 (十八日徳山發―馬公へ)  
 明石 (十八日「サイバン」發―二見へ)  
 潜三〇 (十八日吳發―横須賀へ)  
 佐多 (十八日舞鶴發―佐世保へ)

(前内限二頁)

0483

# 海軍公報

第三千四百四十一號

海軍大臣官房

大正十三年四月二十一日(月)

## ○令達

官房第一一四九號

大正十三年四月二十一日

海軍大臣 村上格 一

臨時軍事費支出區分ノ件

左記艦船隊ニ要スル俸給及艦營備人ノ給料ハ大正十二年二月官房第六五〇號ニ拘ラス下記期間臨時軍事費支辨トス

臨時海軍防備隊 自大正十二年四月三十一日 至大正十三年三月三十一日

軍艦 千早 自大正十二年五月十一日 至大正十二年九月三十日

第六驅逐隊 自大正十二年五月三十一日 至大正十二年十月三十一日

參照

大正十二年二月官房第六五〇號臨時軍事費支出區分ノ件  
大正十二年四月一日以降大正十三年八月官房第二四二號臨時軍事費整理規程ノ規定ニ關ラス特ニ指定シタル各部ニ要スル俸給及艦營備人ノ給料ハ海軍戰時給與規則ニ依ル給與スル給及臨時増置員ニ要スル俸給給料ニ限リ臨時軍事費ノ支辨トス

## ○訓令

海軍少佐 杉山 俊亮  
海軍大學校教官在職中ハ參謀官ト心得(守)海軍大臣)

## ○雜款

○郵便物發送先

第一水雷戰隊司令部、天龍、第十六驅逐隊(第十、第十八、第十六驅逐隊)、第十五驅逐隊(萬秋、藤澤)、第十四驅逐隊(谷風、江風、葵、菊)、第十三驅逐隊(第六、第四、第二驅逐隊)宛

四月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ三重縣神社港其ノ後ハ 吳

第二水雷戰隊司令部、軍艦北上、第一驅逐隊(第一驅逐隊、野風、沼風、波風)、第二驅逐隊(沖風、澤風、峯風、夕風)、第四驅逐隊(大刀風、帆風、羽風、秋風)、第五驅逐隊(第三驅逐隊、第五驅逐隊)宛

四月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 德島縣小松島和歌山縣和歌浦  
四月三十日迄ニ同 三重縣鳥羽  
其ノ後ハ 横須賀

第十七驅逐隊(山風、海風、楢、榎)宛  
四月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 新 舞鶴  
五月二日迄ニ同 新 舞鶴  
其ノ後ハ 新 舞鶴

特務艦官出苑

海軍公報 第三四四一號 大正十三年四月二十一日

四一九

四月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ佐世保 未定 其ノ後ハ

○第十七驅逐隊(山風、海風、檜、榎)行動豫定

地名 着 發

新舞鶴 四月二十九日 四月二十九日

穴水 四月二十九日 五月三十日

七尾 五月三十日 五月一日

新見 五月一日 五月三日

二見 五月三日 五月三日

新舞鶴 五月三日 五月四日

○特務艦富士行動豫定

地名 着 發

横須賀 四月二十四日 四月二十一日

佐世保 四月二十四日 四月二十九日

○特務艦高崎行動豫定(四月八日)  
本欄参照

地名 着 發

佐世保 五月七日 五月五日

舞鶴 五月十五日 五月十三日

泉 五月十五日 五月十九日

横須賀 五月二十二日

○入學考試問題發送終了

一、大正十三年(第二十四期)海軍水雷學校高等科學

生入學考試問題

右四月十八日ヲ以テ發送ヲ終了セリ(海軍水雷學校)

○航空術練習生採用試験  
第六期航空術練習生(飛行機操縦者タルヘキモノ)採用試験問題本月十六日發送済、試験期日五月二日  
霞ヶ浦海軍航空隊

○事務所設置  
第十二驅逐艦裝具事務所ヲ石川島造船所内ニ設置シ本日ヨリ事務ヲ開始ス(主任第十二驅逐艦裝具員長)

○海外武官宿所變更  
米國駐在海軍軍醫中佐田中朝三ハ宿所ヲ左記ニ移轉セリ但シ學校内宛名ハ從前通り  
% Mr. G. D. Adams,  
5628 Ellis Ave., Chicago, Ill.

○第四十三潜水艦殉難者葬儀  
來四月二十二日午後二時海軍葬喪令ニ依リ佐世保防備隊葬場ニ於テ神式ヲ以テ第四十三潜水艦殉難者海軍少佐桑島新以下四十五名ノ合同葬儀ヲ執行ス  
大正十三年四月二十一日  
葬喪管理者 佐世保防備隊司令 高橋節雄

○電話開通  
青山 四六三五番 海軍技術研究所

0485

○艦船所在

▲印ハニハホソ  
指定ヲ要セズ

○四月二十一日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、ト磐手

区夕立、白露、夕暮、三日月、区椿、棋

桑、樺、区島風、灘風、区有明、響

如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨、驅七

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八、潜三〇

区掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武蔵、朝日、關東、富士

【石川島】 驅一二

【浦賀】 阿武隈 驅八

【清水】 沙風

【大湊】 区潜四〇、潜三九、潜三八

【單冠灣】 磯風

【沙灣】 天津風

【柏原】 区時津風

【吳】 伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳

矢矧、駒橋、勝力、球磨、区長門、陸奥、日向、山城、多摩、ト天龍、淺間、ト平戸、韓崎

区追風、彌生、卯月、疾風、初春、区菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月、区驅一六、驅一八、驅一〇、区蕙、萩、藤、薄、区谷風、江風、葵、菊、区驅六、驅四、驅二

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、区潜二五、潜二七、潜三七、潜二二、潜二四、区潜三四、潜三五、潜三六、潜二六、潜四四、潜五一、潜一八、区潜六二、潜四五、区潜七二

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、大和、室戸、隠戸

【神戸】 神通

潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、潜八四

【徳山】 野島

【舞鶴】 日進、春日

【佐世保】 出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、龍田、夕張

区山風、海風、檜、榎、驅九

【伊勢】 伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳

【吳】 伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳

【沙灣】 天津風

【單冠灣】 磯風

【大湊】 区潜四〇、潜三九、潜三八

【清水】 沙風

【浦賀】 阿武隈 驅八

【石川島】 驅一二

【横須賀】 加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、ト磐手

区夕立、白露、夕暮、三日月、区椿、棋

桑、樺、区島風、灘風、区有明、響

如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、夕風、時雨、驅七

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八、潜三〇

区掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武蔵、朝日、關東、富士

【石川島】 驅一二

【浦賀】 阿武隈 驅八

【清水】 沙風

【大湊】 区潜四〇、潜三九、潜三八

【單冠灣】 磯風

【沙灣】 天津風

【柏原】 区時津風

【吳】 伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳

0486

【檜】 区檜、桃、柳、楡、区樺、樺、竹、藥  
 【栗】 区栗、梅、柿、区葦、菱、蕨、蕈  
 【初雪】 若葉、潮、朝風、子日、春風  
 【潜五九】 潜四一、潜四二、潜四三  
 【潜六八】 潜三八  
 【敷島】 知床、襦袢、佐多  
 【長崎】 長崎、川内  
 【馬公】 大井  
 【杉】 杉、柿、蓼  
 【基隆】 蓬  
 【高雄】 蓬、青島、龍、海、龍東  
 【鎮海】 区檜、桂、梅、楠  
 【潜三一】 潜三三、潜三一  
 【旅順】 区檜、樺、櫻、橘、黄、八、潜三八、劍崎  
 【南洋群島】 淀  
 【上海】 区安宅、伏見、比良  
 【漢口】 宇治、保津  
 【長沙】 鳥羽、隅田  
 【宜昌】 堅田  
 【重慶】 勢多  
 【廣東】 松

【航海中】 尻矢 (七日桑港發) 内地へ)

神威 (十七日桑港發) 徳山へ)  
 鶴見 (十六日佐世保發) タラカンへ)  
 松江 (十七日鳥羽發) 二見へ)  
 濱風 (十八日船川發) 函館へ)  
 滿州 (十八日徳山發) 馬公へ)  
 明石 (十八日「サイパン」發) 二見へ)  
 八雲 (十九日佐世保發) 横須賀へ)  
 若宮 (十九日佐世保發) 大阪へ)  
 白金剛 (十九日佐世保發) 名取、由良、長良、(二十日佐世保發) 大阪へ)  
 北北 (二十日波風、野風、沼風、区驅三、驅五、  
 沖風、澤風、峯風、夕風、区太刀風、帆風、秋風、  
 羽根 (二十日佐世保發) 小松島へ)  
 利根 (二十日蕪湖發) 九江へ)  
 高崎 (二十日吳發) 佐世保へ)  
 大泊 (二十日距港發) 小樽へ)  
 石廊 (二十日「ホルム」發) 徳山へ)  
 筑摩、迅鯨、区潜四六、潜四七、潜五七、区潜二八、  
 潜二九 (二十一日吳發) 伊勢灣へ)  
 五十鈴 (二十一日吳發) 二見へ)

(前内限三頁)

0487

# 海軍公報

第三千四百四十二號

大正十三年四月二十二日(火)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第一一六七號  
 大年十二月九日官房第三〇八五號震災救護及戒嚴費支出規程中左ノ通告正ス

大正十三年四月二十二日

海軍大臣 村上 格 一

四、衣糧費解疏中「大正十三年三月官房第一」ノ下ニ「七八一號及同」ヲ加フ

官房第一一六八號

大正十三年度歳入歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年四月二十二日

海軍大臣 村上 格 一

歳入經常部

款	項	目	解疏	會計科目
○通牒				
		雜費		フリ
		諸實驗費		フチ
		解體工事費		フト
	主力艦解體諸費			フヘ
○令達	歳出臨時部			
		恩給法納金		
		文官納金		
		待遇職員納金		
		軍備制限諸費		會計科目 電信略號

海軍公報 第三四四二號 大正十三年四月二十二日

四二三

0488



軍需衣第四〇號ノ二

本年三月軍需衣第四〇號大正十三年度被服物品代價表  
中左ノ通追加ス

大正十三年四月二十二日

海軍省軍需局長 中里 重次

貸與品ノ部 英式航空衣袴ノ次ニ左ノ如ク加フ

英式航空夏衣袴 一個 三九〇〇〇

備考ニ左ノ一項ヲ加フ

三 五線以上ノ善行章ハ一線ヲ増ス毎ニ第一種消耗品ニ在リテハ三錢宛、貸與品ニ在リテハ十五錢宛ヲ増スモノトス

經豫第一九八號

大正十三年四月二十二日

海軍省經理局長 深水 貞吉

本月一日經豫第一四二號通知大正十三年度歲出臨時部細節科目中軍備補充費軍艦製造費造兵費ノ目ニ於テ特務艦神威ノ次ニ「特務艦大泊」セ「Kasichiyas」ヲ與脱候ニ付記入方取計ハレ度  
右通知ス

〇 辭令

海軍技手 柴田 壽正  
第一部第一課勤務ヲ命ス(十四日海軍艦政本部)

〇 雜款

〇 驅逐艦進水

大阪藤永田造船所ニ於テ建造ノ第十五驅逐艦四月二十一日午前七時三十分進水セリ

〇 郵便物發送先

第三十潜水艦宛

自今

横須賀

特務艦大泊宛

自今

横須賀

〇 特務艦室戸行動豫定

地名

着

發

吳	五月十三日	五月十一日
佐世保	五月十九日	五月十七日
上海	五月十九日	五月二十四日
旅順	五月二十七日	五月二十六日

0489

鎮海	六月四日	七日
佐世保	八日	十一日
西戸崎	十二日	十五日
舞鶴	十七日	二十一日
吳	二十四日	

○入學試験(考試)問題

- 一、大正十三年海軍大學校第二十四期甲種學生入學試験問題
  - 一、大正十三年海軍大學校第二十四期航海學生入學考試問題
  - 一、大正十三年海軍大學校第十六期機關學生入學試験問題
- 右本月二十一日發送済
- (海軍大學校)

○滞在地變更

海軍少尉中野政知ハ横須賀ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀四月二十一日認許セラレタリ

0490

○艦船所在

▲印ハハホス  
指定ヲ要セス

○四月二十二日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、ト替手

ト夕立、白露、夕暮、三日月、ト椿、模、桑、櫻、ト島風、濰風、ト有明、響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、驅七

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八、潜三〇

ト掃一、掃二、掃三

【石川島】

鳴戸、洲崎、青島、武藏、朝日、富士、阿武隈

【浦賀】

驅八

【清水】

沙風

【三見】

松江

【大湊】

濱風

潜四〇、潜三九、潜三八

【單冠灣】

磯風

【新加坡】

天津風

【柏原】

時津風

【吳】

伊勢、海島、木曾、鬼怒、千歲、矢矧、多摩、淺間、ト平戶、彌生、卯月、疾風、初春、磯波

潜波四、潜波五、潜波六、潜波八、潜二七、潜三六、潜四四、潜五一、潜一八、潜六二、潜四五、潜七二

早瀬、野間、能登呂、攝津、膠州、大和、室戸、隱戸

比叡、ト名取、由良、長良、若

【大】

【神戶】

神七、潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、潜八四、問宮

【小松島】

ト北上

驅一、波風、野風、沼風、ト驅三、驅五、ト沖風、澤風、峯風、夕風、ト太刀風、帆風、秋風、羽風

【江田島】

球磨

【安下庄】

駒橋

ト菊月、水無月、浦波、長月

0492

0491

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月二十二日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、鳳翔、扶桑、阿蘇、ト磐手

夕立、白鷺、夕暮、三日月、区楯、楨

桑、櫻、区島風、灘風、区有明、響

如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、驅七

潜波一、潜波二、潜波四、潜波二〇、

潜波三〇、潜二〇、潜一九、潜五八、

潜三〇

区掃、掃三、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武蔵、朝日、富士

【石川島】 驅一三

【浦賀】 阿武隈

驅八

【清水】 汐風

【三見】 松江

【大湊】 濱風

潜四〇、潜三九、潜三八

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

【龍宮】 磯風

大正十三年四月二十日

四三六

【吳】

伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歳、矢矧、藤力、多摩、淺間、ト平戸、

磯嶽

区退風、彌生、卯月、疾風、初春、

綾波、磯波

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、潜二七、潜三六、

潜二六、潜四四、潜五一、潜一八、

区潜六二、潜四五、区潜七二

早霜、野間、能登呂、攝津、膠州、

大和、室戸、隠戸

【大阪】 金剛、比叡、ト名取、由良、長良、

若宮

【神戸】 驅一五

神通

潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、

潜八四

問宮

【小松島】 北上

區驅一、波風、野風、沼風、区驅三、

驅五、区沖風、澤風、峯風、夕風、

区太刀風、帆風、秋風、羽風

【五門】 球磨

【安下庄】 駒橋

区有月、水無月、浦波、長月

0492

0491

<p>【南洋群島】 泥</p> <p>【旅順】 区桐、樺、櫻、橘</p> <p>【鎮海】 区楓、桂、梅、楠</p> <p>【高雄】 区蓮</p> <p>【基隆】 区蓬</p> <p>【馬公】 区柏、杉、檜、蓼</p> <p>【米ノ津】 龍田</p> <p>【長崎】 關東、敷島、知床、襟裳、佐多、高崎</p>	<p>【德山】 野島</p> <p>【舞鶴】 日進、春日</p> <p>【佐世保】 出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、夕張</p> <p>区山風、海風、檜、榎、驅九</p> <p>区櫻、桃、柳、檜、区樅、榎、竹、梨</p> <p>区栗、檜、梅、柿、区葎、菱、蕨、菫</p> <p>区初雪、若葉、潮、胡風、子日、春風</p> <p>潜二一、区潜四一、潜四二、潜四三、潜五九、潜六八</p>	<p>区潜二五、区潜三七、潜三二、潜二四、区潜三四</p> <p>【上海】 安宅、伏見、比良</p> <p>【漢口】 宇治、保津</p> <p>【長沙】 鳥羽、隅田</p> <p>【沙市】 堅田</p> <p>【重慶】 勢多</p> <p>【廣東】 松</p> <p>【航海中】</p> <p>尻矢 (七日桑港發—内地へ)</p> <p>神威 (十二日桑港發—徳山へ)</p> <p>鶴見 (十六日佐世保發—「タラカン」へ)</p> <p>滿州 (十八日徳山發—馬公へ)</p> <p>明石 (十八日「サイパン」發—二見へ)</p> <p>八雲 (十九日佐世保發—横須賀へ)</p> <p>利根 (二十日蕪湖發—九江へ)</p> <p>大泊 (二十日亞港發—小樽へ)</p> <p>石廊 (二十日「ホルル」發—徳山へ)</p> <p>口長門、陸奥、日向、山城、区天龍、区驅一六、驅一八、驅一〇、区谷風、江風、葵、菊、区葛、萩、藤、薄</p> <p>区驅六、驅四、驅二、区筑摩、迅鯨、区潜四六、潜四七、潜五七、区潜二八、潜二九 (二十一日吳發—伊勢海へ)</p> <p>△五十鈴 (二十一日吳發—二見へ)</p> <p>潜三五 (二十一日吳發—別府へ)</p> <p>夕風、時雨 (二十一日伊東發—鳥羽へ)</p>
--	--	--

海軍公報 第三四四二號 大正十三年四月二十二日 (部内限一頁) 四二七

0493

# 海軍公報

第三千四百四十三號

海軍大臣官房

大正十三年四月二十三日(水)

## ○令 達

官房第一一七四號

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年四月二十三日

海軍大臣 村上 格 一

歳出臨時部

款	項	目	節	解 疏	會計科目
(大演習費)	(大演習費)	(演習費)			電信略費
			兵器費	特令アルモノニ限ル備費共	ヤキ
			建築費	特令ニ依ル假設物ニ限ル	ヤニ
			造船費	特令ニ依ル機裝及修理工事ニ限ル	ヤメ
			港用品	特ニ要スル分ニ限ル	ヤミ

尙本款ノ節雜件費ノ上ニ附セシ「□」印ヲ削除ス

## ○辭 令

海軍主計少佐 加納 金三郎  
 兵食研究調査委員會委員ヲ命ス(ニニニ海軍省)

## ○雜 款

○總代  
 來ル二十五日實所皇靈殿神殿ヲ假殿ニ奉遷ノ儀中假殿ノ儀被爲行候ニ付勅任官總代トシテ同日實所參集所ヘ參列スヘキ旨左記ヘ通達セラレタリ  
 勅任官總代 海軍少將 宇 佐川 知 義

○郵便物發送先  
 第二潜水戰隊司令部、軍艦平戸、韓崎、第十四潜水隊(第四十五潜水艦、第六十二潜水艦)、第二十六潜水隊(第五十九潜水艦)宛  
 四月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ、山口縣新湊其ノ後ハ、  
 第二十六潜水隊(第七十二潜水艦)宛  
 四月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ、山口縣新湊

海軍公報 第三四四三號 大正十三年四月二十三日

四二九

0494

<p>其ノ後ハ當分</p> <p>特務艦大和宛 五月四日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀 其ノ後ハ</p>		<p>神戶</p>		<p>三八 五</p> <p>被服洗濯ノ下「賃」ヲ脱ス</p>	
<p>〇特務艦大和行動豫定</p>		<p>發着</p>		<p>三九 五</p> <p>「但シ」以下ハ「懲」ニ付削除</p>	
<p>地 名</p>		<p>着</p>		<p>五四 六</p> <p>「カ」ヲ「キ」ニ付削除</p>	
<p>吳</p>		<p>四月二十四日</p>		<p>六〇 五</p> <p>「文官」ニ付削除</p>	
<p>横須賀</p>		<p>四月二十七日</p>		<p>六五 六</p> <p>「タ」ヲ「カ」ニ付削除</p>	
<p>石巻</p>		<p>五月八日</p>		<p>七四 三</p> <p>「初」ニ付削除</p>	
<p>釜石</p>		<p>五月十二日</p>		<p>七三 二</p> <p>「防」ニ付削除</p>	
<p>函館</p>		<p>五月十五日</p>		<p>七二 一</p> <p>「防」ニ付削除</p>	
<p>〇事務所設置</p>		<p>第十五驅逐艦艇裝員事務所ヲ大阪府東成郡吹上村藤永田造船所内ニ設置ス (第十五驅逐艦艇裝員長心得)</p>		<p>七三 三</p> <p>「軍醫」ニ付削除</p>	
<p>〇出發</p>		<p>歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍軍醫少佐長田勝芳ハ來ル四月二十五日東京發、同月二十九日正午門司出港ノ汽船香取丸ニテ出發ノ豫定</p>		<p>七三 四</p> <p>「初」ニ付削除</p>	
<p>〇大正十三年度海軍省所管歳入歳出科目表中正誤</p>		<p>頁 段 行</p>		<p>九三 一〇</p> <p>「軍備」ニ付削除</p>	
<p>三六</p>		<p>六</p>		<p>三六 二</p>	
<p>三六</p>		<p>六</p>		<p>三六 二</p>	

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月三十日午前十時調

【横須賀】 加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、

阿蘇、磐手、八雲

区夕立、白露、夕暮、三日月、区椿、楨、

桑、樺、区島風、灘風、区有明、響、

如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、

驅七

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、

潜二二、潜二〇、潜一九、潜五八、

潜三〇

区掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武藏、朝日、富士

【石川島】 驅一二

【浦賀】 阿武隈

驅八

【清水】 汐風

【鳥羽】 夕風、時雨

【二見】 松江

【大湊】 濱風

区潜四〇、潜三九、潜三八

【小樽】 大泊

【單冠灣】 磯風

(前内頁一頁)

【新加坡】 天津風

【柏原】 時津風

【吳】 伊勢、霧島、(本食)、鬼怒、千歲、

矢矧、勝力、多摩、淺間、平戸、

韓崎、(長崎、二二)

区追風、彌生、卯月、疾風、初春、

綾波、磯波、(二二)

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、潜二七、潜三六、

潜二六、潜四四、潜五一、潜一八、

潜六二、潜四五、区潜七二

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、

大和、室戸、隱戸、野島

【大阪】 口金剛、比叡、(名取)、由良、長良、

若宮

驅一五

【神戸】 神通

潜六九、潜七〇、潜七一、潜七三、

潜八四

間宮

【小松島】 北上

区驅一、波風、野風、沼風、区驅三、

驅五、区沖風、澤風、峯風、夕風、

区太刀風、帆風、秋風、羽風

【江田島灣】 球磨

0496



【別府】

□ 駒橋  
□ 菊月、水無月、浦波、長月  
□ 潜二五、□ 潜三七、潜三二、潜二四、  
□ 潜三四

【舞鶴】

□ 日進、春日  
□ 山風、海風、檜、榎、驅九

【佐世保】

□ 出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、  
夕張▲

□ 櫻、桃、柳、檜、□ 樅、榎、竹、梨、

□ 栗、榆、梅、柿、□ 葦、菱、蕨、菫、

□ 初雪、若葉、潮、胡風、子日、春風

□ 潜二一、□ 潜四一、潜四二、潜四三、  
潜五九、潜六八

□ 敷島▲、知床、襟裳、佐多、高崎

【長崎】

□ 關東

【米津】

□ 龍田

【馬公】

□ 大井、滿州

【基隆】

□ 蓬

【淡水】

□ 蓬

【高雄】

□ 遠

【鎮海】

□ 潜三一、潜三三、潜三一

【巨文島】

□ 楓、桂、梅、楠

【旅順】

□ 桐、樺、櫻、橘

【南洋群島】

□ 劍崎  
□ 淀、伏見、比良

【上海】

□ 安宅、利根、保津

【九江】

□ 宇治、保津

【漢口】

□ 鳥羽、隅田

【長沙】

□ 堅田

【沙市】

□ 勢多

【重慶】

□ 勢多

【廣東】

□ 松

【航海中】

□ 尻矢 (七日桑港發—内地へ)

□ 神威 (十二日桑港發—徳山へ)

□ 鶴見 (十六日佐世保發—「タラカン」へ)

□ 石廊 (二十日「ホルル」發—徳山へ)

□ 長門、陸奥、日向、山城、天龍、驅一六、驅一八、

驅一〇、□ 谷風、江風、葵、菊、□ 蕙、萩、藤、薄、

□ 驅六、驅四、驅二、□ 筑摩、迅鯨、□ 潜四六、潜四七、

潜五七、□ 潜二八、潜二九 (二十一日吳發—伊勢

灣へ)

▷ 五十鈴 (二十一日吳發—二見へ)

潜三五 (二十一日吳發—別府へ)

明石 (二十二日三見發—鳥羽へ)

(前内限一頁)

0497

# 海軍公報

第三千四百四十四號

海軍大臣官房

大正十三年四月二十四日(木)

(天出)

## ○令 達

官房第一一八五號

大正十三年四月二十四日

海軍大臣 村上格 一

各鎮守府司令長官  
舞鶴大湊要港部司令官  
海軍火藥廠長、海軍燃料廠長

市町村助成金ノ件

大正十三年度市町村助成金ノ交付額左記ノ通定ス

右令達ス

神奈川縣横須賀市	四五、〇〇〇
神奈川縣三浦郡田浦町	八、〇〇〇
廣島縣吳市	一一三、〇〇〇
廣島縣安藝郡警固屋町	五、〇〇〇
廣島縣安藝郡吉浦町	三、〇〇〇
廣島縣安藝郡江田島村	五〇〇

廣島縣安藝郡本庄村	三一〇
廣島縣安藝郡燒山村	一九〇
廣島縣賀茂郡阿賀町	一、五〇〇
廣島縣賀茂郡廣村	七、五〇〇
長崎縣佐世保市	一〇〇、〇〇〇
長崎縣東彼杵郡日宇村	三、〇〇〇
京都府加佐郡中舞鶴町	一七、〇〇〇
京都府加佐郡新舞鶴町	一七、〇〇〇
青森縣下北郡大湊村	二、〇〇〇
神奈川縣中郡平塚町	二、〇〇〇
神奈川縣中郡大野村	二、〇〇〇
山口縣縣都濃郡徳山町	三、〇〇〇
福岡縣糟屋郡志免村	四、〇〇〇
福岡縣糟屋郡須惠村	八、〇〇〇
朝鮮平安南道大同郡秋乙美面	九〇〇
朝鮮平安南道大同郡大同江面	一〇〇
寺洞學校組合	四、〇〇〇

海軍公報 第三四四四號

大正十三年四月二十四日

四三三

○ 辭 令

海軍技師 江角(金)市  
 研究部勤務ヲ命ス(十四日海軍技術研究所)○○○  
 海軍主計少佐 大東(健)夫  
 會計課兼工作課勤務ヲ命ス(十四日海軍技術研究所)

○ 雜 款

○ 驅逐艦進水  
 佐世保海軍工廠ニ於テ建造ノ第十七驅逐艦四月二十三  
 日午前十時三十分進水セリ  
 ○ 本隊幕僚事務ヲ磐手ニ於テ執行中ノ處四月二十三日  
 ヨリ八雲ニ於テ行フ(練習艦隊)

0499

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○四月二十四日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、千早、風翔、扶桑、阿蘇、ト磐手、八雲

ト夕立、白露、夕暮、三日月、ト椿、楨、桑、櫻、ト島風、灘風、ト有明、響、如月、神風、吹雪、初霜、矢風、浦風、驅七

潛波一、潛波二、潛一四、潛波一〇、潛二二、潛二〇、潛一九、潛五八、潛三〇

ト掃一、掃二、掃三

鳴戸、洲崎、青島、武藏、朝日、富士

【石川島】

驅一二

【浦賀】

驅八

【清水】

汐風

【名古屋】

夕風、時雨

【伊勢灣】

ト長門、陸奥、日向、山城、ト五十鈴、ト天龍、ト筑摩、迅鯨

ト驅一六、驅一八、驅一〇、ト葛、萩、藤、薄、ト谷風、江風、葵、菊、ト驅六、驅四、驅二

【大湊】

濱風、ト潛四〇、潛三九、潛三八

【小樽】

大泊

【單冠灣】

磯風

【新知灣】

天津風

【柏原】

ト時津風

【吳】

伊勢、霧島、木曾、鬼怒、千歲、矢矧、多摩、淺間、ト平戸、韓崎、ト追風、彌生、卯月、疾風、初春、綾波、磯波

潛波三、潛波四、潛波五、潛波六、潛波七、潛波八、潛二七、潛三五、潛三六、潛二六、潛四四、潛五一、潛一八、ト潛六二、潛四五、ト潛七二

早鞆、野間、能登呂、攝津、膠州、大和、室戸、隱戸、野島

【大阪】

ト金剛、比叡、ト名取、由良、長良、若宮

【神戸】

驅一五

【神通】

潛六九、潛七〇、潛七一、潛七三、潛八四

【間宮】

間宮

0500

【小松島】北

波風、野風、沼風、  
驅五、  
帆風、秋風、羽風、  
夕風、

【新湊】勝力

水無月、浦波、長月、  
潜二五、  
潜三二、  
潜二四、  
潜三四、

【舞鶴】日進

春日、  
海風、檜、  
驅九、  
出雲、吾妻、常磐、對馬、最上、嵯峨、  
夕張

【佐世保】夕張

櫻、桃、柳、檜、  
樺、  
梨、  
栗、  
榎、  
柿、  
葎、  
菱、  
蕨、  
莖、  
初雪、  
若葉、  
潮、  
胡風、  
子日、  
春風、  
驅一七、  
潜二一、  
潜四一、  
潜四二、  
潜四三、  
潜五九、  
潜六八、  
敷島、  
知床、  
襟裳、  
佐多、  
高崎

【長崎】關東

長鯨、川内、  
龍田、  
大井、  
滿州、  
柏、  
修、  
練

【米津】龍田

【馬公】大井

【基隆】蓬、麥

球磨、  
潜三一、  
潜三三、  
潜三一、

【釜山】球磨

梅、楠、  
潜三三、  
潜三一、

【木浦】梅、楠

桐、樺、櫻、橘、  
潜三三、  
潜三一、

【旅順】桐、樺、櫻、橘

淀、  
潜三三、  
潜三一、

【南洋群島】淀

伏見、比良、  
潜三三、  
潜三一、

【上海】伏見、比良

利根、  
潜三三、  
潜三一、

【大湊】利根

宇治、保津、  
潜三三、  
潜三一、

【漢口】宇治、保津

【長沙】鳥羽、  
潜三三、  
潜三一、

堅田、  
潜三三、  
潜三一、

【沙市】鳥羽、堅田

勢多、  
潜三三、  
潜三一、

【重慶】勢多

【廣東】松

松

【航海中】松

尻矢、  
潜三三、  
潜三一、

(七日桑港發—内地へ)  
神威、  
潜三三、  
潜三一、

鶴見、  
潜三三、  
潜三一、

石廊、  
潜三三、  
潜三一、

明石、  
潜三三、  
潜三一、

安宅、  
潜三三、  
潜三一、

楓、  
潜三三、  
潜三一、

連、  
潜三三、  
潜三一、

劍崎、  
潜三三、  
潜三一、

松江、  
潜三三、  
潜三一、

(二十三日旅順發—鎮南浦へ)  
(二十三日高雄發—基隆へ)  
(二十三日巨文島發—群山へ)  
(二十三日上海發—漢口へ)  
(二十三日二見發—アツツンツンへ)  
(二十三日二見發—アツツンツンへ)

0501

(部外ニ配布セス)

海軍公報第三千四百四十四號附錄

歐文電報宛名畧語表

昭和五年海軍第二三五號ノニ  
ニテ本表廢止



尚本号、昭和九年十二月十五日附公報附錄、追記訂正シアリ。



0502

官房第一一九一號

各地電信局ニ登記シアル歐文電報宛名略語左ノ通ニ有之候

大正十三年四月二十四日

海軍省副官 藤田尚徳

一、東京電信局登記ノモノ

Hagoromo	Tokio	東	京	海軍大臣
Kantun	Tokio	同		海軍次官
Asagao	Tokio	同		海軍省副官
Oimatsu	Tokio	同		海軍省軍務局長
Gunju	Tokio	同		海軍省軍需局長
Hachinoki	Tokio	同		海軍省經理局長
Kansei	Tokio	同		海軍艦政本部長

0503

二、歐米其他各國各其駐在地電信局登記ノモノ

Tasogane	Tokio	同	海軍軍令部長
Izayoi	Tokio	同	海軍軍令部次長
Kusanagi	Tokio	同	海軍軍令部副官
Oshidori	Tokio	同	海軍軍令部大臣 (連名)
Karigane	Tokio	同	海軍軍令部次官 (連名)
Hydro	Tokio	同	水路部
Kaigun	London	ロンドン	英國在勸帝國大使館附武官
Kaigun	Washington	ワシントン	米國 同

0504



Kaigun	Paris	パ	リ	佛國 同
Kaigun	Rome	ロ	マ	伊國 同
Kaigun	Berlin	ベル	リン	獨國 同
Kaigun	Rio	リオ、デ、ジャ	ネイロ	伯刺西爾國 同
Kaigun	Peking	北	京	支那在勤帝國公使館附武官
Kaigun	Santiago Chile	サン	チアゴ	智利國 同
Kaigun	Puenos Aires	ブエ	ノス、 アイレス	亞爾然丁國 同
Kaigun	Shanghai	上	海	上海駐在武官
Kantoku	London	ロ	ンドン	在英造船造兵監督長
Kaikaikan	London	同		在英造船造兵監督會計官
Beikan	New York	ニュ	ーヨーク	在米造船造兵監督官

三

0505

Renmeikaigun Paris	パ リ	國際聯盟帝國海軍代表者 (「パリー」ニ在ルトキ)
Renmeikaigun Geneve	ジュネーヴ	同 (「ジュネーヴ」ニ在ルトキ)
Renkin Geneve	同	國際聯盟帝國空軍代表者 (「ジュネーヴ」ニ在ルトキ)

四

三、在外帝國全權大使又ハ全權公使ニ宛ルモノハ各地トモ Koshi 某府ト登記ス

(例)

在 英 大 使	Koshi London
在 支 公 使	Koshi Peking

四、在外帝國總領事又ハ領事ニ宛ルモノハ各地トモ Ryoji 某市ト登記ス

(例)

0506

在桑港總領事	Riyoji San Francisco
在新嘉坡總領事	Riyoji Singapore

官房第一一九一號ノ二

大正元年官房第三九八號ハ之ヲ廢止セラレ候

大正十三年四月二十四日

海軍省副官 藤田尚徳

(參照)

大正元年官房第三九八號ハ各地電信局ニ登記シアル歐文電報宛名略語ノ件ナリ

0507